



ほほえみ

第195号

2022.9.1
(令和4年9月1日)

大竹市社協だより

ごきげん、 新たな一歩!!



新見公立大学3年生の皆さん(関連ページは4Pと5Pにあります。)

場所：さかえ公園にて



ふれあいネットワーク

この広報紙は共同募金(赤い羽根)配分金を受けて発行しています。

「ぷらっとほーむ」

「暑いね〜」「ほんとに暑い!!」朝の挨拶はこんな言葉から始まります。「今日は熱中症警戒アラートが出るとらしいよ〜」まだ聞きなれないワードもよく耳にするようになりました。作業中もこまめな水分補給と室内温度に注意して、暑さにめげずに熱い気持ちで作業に取り組んでいます。また、今年度は新たに6名の方が入られました。ぷらっとほーむの今後の活動にご期待ください。



毎週ご好評いただいていますサントピア館内での野菜販売です。



ただいま秋野菜の準備中です。あわせてご期待ください。



問い合わせ先 「ぷらっとほーむ」 TEL57-3935
大竹市御園二丁目11-15



阿多田保育園

大竹市阿多田4003-9
TEL 537-0062

ぐんぐん暑くなる夏の日差しにも、負けないほど元気な子どもたち。氷や水の冷たさを楽しみながら、プールで開放的に遊んでいます。色水を凍らせてのお絵描きや、氷の中から出てくるおもちゃがお気に入りです。



こんにちは！大竹市地域包括支援センターです。

9月になっても残暑の厳しい日が続いていますが、体調にお変わりはないでしょうか？
適度な休息と水分補給を心がけ、実りの秋を元気に迎えましょう。

「第9回介護山柳」を募集します！！

11月11日は「介護の日」(厚生労働省が平成20年に制定)です。

恒例となりました介護山柳も、早いもので第9回目を募集することになりました。毎日の生活の中で感じたことやできごと、介護を通して感動したことや感謝の気持ちを山柳で表してみませんか？

【募集期間】 令和4年9月1日(木)～9月30日(金)消印有効

【応募方法】

所定の作品応募用紙が官製はがきに、住所・氏名・年齢・電話番号・作品を記入し、大竹市地域包括支援センターに郵送もしくは持参してください。お一人2点まで、自作で未発表のものに限ります。

応募用紙はサントピア大竹、市内各公民館、おがたピア、各コミュニティサロン、総合市民会館、図書館、市内各郵便局、広島銀行大竹支店、大竹市役所地域介護課にあります。

※応募箱の設置は行いません。

【部門】 ◎一般部門 ◎子ども部門

【表彰・展示】 入賞 各部門10点 入賞作品は「ほほえみ」11月号に掲載します。

応募作品は、サントピア大竹館内に、

令和4年11月1日(火)～11月30日(水)まで展示します。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止等により休館となった場合には、展示ができないことがあります。

【その他】

応募作品の著作権は大竹市地域包括支援センターに帰属し、作品の返却はしません。個人情報に関しては、入賞者の連絡のみに使用します。

【応募先・問い合わせ】

大竹市地域包括支援センター

〒739-0603

大竹市西栄2丁目4番1号

(サントピア大竹内)

TEL 53-1165
FAX 52-2247



おたけししょう しゃそだんしえん 大竹市障がい者相談支援センター

令和4年度、1回目の「しゃべり場」を開催しました。



7月12日(火)サントピア大竹・3階多目的ホールにおいて、当センター利用の保護者4名と相談員2名でざっくばらんにおしゃべりをしました。「子育てのこと」、「日々の出来事」、「福祉サービス」のことなど多くのことが話題になりました。しゃべることで、ストレス発散にもなり、それぞれ共感できる部分や参考になることもありました。

今後も「交流と仲間づくりの場」や「楽しめる場、息抜きの場」になるよう開催していきます。
(今年度はあと2回程度を予定)

地域福祉課

大竹市障がい者相談支援センター

TEL: 52-0167

FAX: 53-8122 メール: soudan@otake-shakyo.or.jp

- 自分の考えた企画を通し、様々な地域の課題に関われることが魅力。社協がきっかけでできたサロンが地域の中で自立して、地域の生きがいの場として継続しているという現状をみて魅力だと感じた (竹添)
- 地域住民、地域の身近なところで関わっている姿に感動した。業務の中で職員同士の連携や雰囲気がいいためこんな職場で働きたいと感じた。(田ノ岡)
- 職員の皆さん、誠実で優しいと感じた。職員さんが利用者やクライアント一人ひとりに対してまっすぐ向き合っている姿が印象的だった。(石田)



竹添 仙太郎
ニックネーム：せんちゃん
新見公立大学3年

実習を終えたみなさんへ エールを送ります!



6月20日より、計24日間、岡山県にある新見公立大学 地域福祉学科3年生3名の実習を受け入れました。遠く離れた初めての土地での実習本当にお疲れさまでした! これからも仲間同士で力を合わせて元気で頑張ってください! 私たち社協マンも挑戦し続けます。現場で待ってるよ!!



大竹小学校での福祉学習

『介護のイメージを変えたい』

6月21日(火)、大竹小学校5年生の福祉学習で大竹市社協訪問介護事業所 和田職員が講師を務めました。

まず始めに介護やヘルパーの仕事についてどんなイメージがあるか発表してもらいました。「お年寄りの家に行き手伝いをする」「自分の家にもおばあちゃんがいるから来てくれる」などの声がありました。

次に「安全で無理のない介護の動き」を身近な生活動作から考え、実際に体験してもらいました。

介護は力任せというイメージがありますが、実は体の動かし方ひとつで変わってきます。同居しているおばあちゃんをイメージしながら取り組んでくれたり、講師の実技に驚きの声をあげたりと、皆さん興味しんしんの様子でした。



重心の移動をすることで、楽に立ち上がることができる実技

生徒の声

おばあちゃんは今は元気だけど、介護が必要になったら手伝ってあげようと思います。

福祉学習を終えて

担当者の気づき

小学生の皆さんもヘルパーについて意外と知っていて、介護も身近であることが分かりました。

介護の知識は、日々の生活にも活かせるので、より多くの方々に知ってほしいです。

☆ヘルパーは、年代性別問わず興味を持ったら出来る仕事です!

プロジェクト ~社協マンたちの挑戦~

「がんばれ! 未来の福祉ヒーローたち!!!」

今回は、『未来の福祉ヒーローたち』を特集します。大竹市社会福祉協議会では、次世代の福祉人材を育成することを目的に、市内小中高等学校での福祉教育や、社会福祉の専門家を目指す学生の現場実習の受け入れをしています。



実習生に聞く

「大竹市社協での実習を終えてみて」 どうでしたか?



実習前に思っていた「社協」

- なんでも相談所
- ボランティア活動を教えてくれるところ
- 地域福祉の活動拠点
- 日常生活で困った人が相談に行くところ
- 元気な人が行くところではない
- サロンと聞いたら美容室のイメージがあった
- ベルマークを集めるところ

- ある地区で「自分のまちの好きなところは人情味があるところ」と答えてくださった。そういったことから、地域住民さんがしっかり自分の地域のことを大切に思い、誇りをもっていることが分かった。(田ノ岡)
- 利用者の方に快く受け入れていただいたとき (竹添)
- 職員がサロンや相談支援をする場面で、地域の人と社協が密接に連携をしながら関わり合っている姿 (石田)



田ノ岡 理央
ニックネーム：ちゃい
新見公立大学3年



石田 美穂
ニックネーム：みきてい
新見公立大学3年

- 地域の見逃してはいけない箇所に目を向ける訓練ができた。地域を専門職と地域住民の両方の視点で見ることが大切だと気付くことができた。(石田)
- 専門職としてのコミュニケーション技術を高めるためにもっと学びたいという思いが高まっている。(田ノ岡)
- 自分はコミュニケーションをとることが好きということに気づいた。信頼関係の構築を目指したコミュニケーションをとれるようになっていきたい。(竹添)

よりそいサポートセンターです！ ひとりで悩まず、ご相談ください。



【相談・問い合わせ】

地域福祉課

よりそいサポートセンター

TEL 35-5300

FAX 53-8122

メール：yorisoi@otake-shakyo.or.jp

次回は冬休み。コロナウイルスが流行せず、みんなが笑顔で参加してくれるよう期待しています。

ます。

いろいろな影響がありました。子どもたちの笑顔を見ると、自治会長や住民の方たちも「またつきもやうんといけんね。」と口をそろえて言われています。

次回を前に、地域の高齢者らに送る書中見舞いを書き、手づかみでおかしの取り放題をしました。最後にはカレーライスを食べ、おいしくおかわりをする子どももいました。

このイベントは、春休み、夏休み、冬休みなど学校が長期休みの時に開催しています。住民の方が子どもたちに宿題を教えたり、食事と一緒にしたりするなど、子どもたちだけでなく、大人たちも毎回楽しみに行っているイベントとなっています。

このイベントは、春休み、夏休み、冬休みなど学校が長期休みの時に開催しています。住民の方が子どもたちに宿題を教えたり、食事と一緒にしたりするなど、子どもたちだけでなく、大人たちも毎回楽しみに行っているイベントとなっています。

7月27日(水)に玖波1丁目集会所(玖波市営住宅集会所)にて、「宿題をはよやろう会」を玖波1丁目自治会の方や、ボランティアの方と一緒に開催しました。

「夏休み」子どもの宿題会

法務局 大事な遺言書 預かります

遺言には、法律の専門家である公証人に依頼して作成してもらう公正証書遺言と、遺言者が自書して作成する自筆証書遺言があります。

法務局では、遺言者が自書した自筆証書遺言書を保管する制度を開始していますので、皆様の大切な財産を大切な方に確実に託す方法の一つとして本制度をご活用ください。

なお、保管申請の手続等は事前予約制により行っていますので、詳しくは、広島法務局ホームページ又は下記までお問い合わせください。

広島法務局廿日市支局総務係 TEL 0829-31-2164



有料在宅福祉サービス「ほほえみネット」協力員養成講座を開催します！

募集

有料在宅福祉サービス「ほほえみネット」とは、会員方式の有償ボランティア事業です。福祉サービスを必要としている方の日常生活(掃除・洗濯・話し相手等)をお手伝いしてみませんか？

日時：令和4年9月20日(火) 13:30～15:00

対象者：大竹市在住・在勤の方

場所：サントピア大竹 2階会議室

参加費：無料

内容：①有料在宅福祉サービスについて

申込期限：9月15日(木)

②介護予防・生活予防支援総合事業について

問い合わせ先 地域福祉課 TEL:52-2275まで



今年も10月1日より赤い羽根共同募金運動が全国で始まります

じぶんの町をよくするしくみ… 赤い羽根共同募金



皆様から頂いた温かなご寄付は大竹市のたくさんの福祉に役立てられています。
皆様のご協力とご理解をどうぞよろしくお願いいたします。

赤い羽根共同募金は、1947年(昭和22年)に、国民の助け合い運動として始まりました。その後、法律(現在の「社会福祉法」)に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。

社会の変化のなか、共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、様々な地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する「じぶんの町を良くするしくみ」として、取り組まれています。

皆様からいただいた募金は広島県共同募金会に送金し、大竹市の地域の福祉の向上のために、募金額の70%が大竹市共同募金委員会に配分され、自分たちの地域の社会福祉事業に役立てられます。残りの30%は、地域を越えた広域な範囲の福祉のために使われています。

また、災害時には、「災害ボランティアセンター」の設置や運営などの、被災地支援費にも役立てられます。

令和3年度の皆様からのあたたかな募金総額は4,195,435円でした。

この中から地域のために総額2,401,435円を13団体に配分しました。また、大竹市社会福祉協議会の事業費として地域サロンなどの事業に1,050,000円(地域サロン等800,000円、子育てサロン等に200,000円、災害ボランティアネットワーク50,000円)が配分されました。

《配分先13団体》

大竹さつき作業所	大竹市献血推進協議会	大竹市聴覚障害者防犯連絡協議会
アイビー作業所	大竹地区保護司会	大竹市母子寡婦福祉連合会
大竹市老人クラブ連合会	大竹市身体障害者福祉協会	大竹市防犯連合会
大竹市視覚障害者福祉協会	大竹市自治会連合会	大竹市社会福祉協議会
大竹市心身障害児・者手をつなぐ育成会		

《令和4年度 赤い羽根共同募金 目標額 6,200,000円》

内訳	戸別募金	4,500,000円	街頭募金	80,000円	法人募金	1,300,000円
	学校募金	80,000円	職域募金	200,000円	イベント	40,000円

《街頭募金のお知らせ》 皆様のご協力よろしくお願いいたします。

令和4年10月3日(月)にゆめタウン大竹、ゆめマート西栄、コメリパワー大竹店で街頭募金活動を行う予定にしております。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

今年も広島県限定「カープコラボバッジ」を1,000円以上のご寄付でお渡しできます。

※ 街頭募金は、新型コロナウイルス感染症の影響により、変更がある場合があります。

お問い合わせ先 大竹市共同募金委員会事務局 (大竹市社会福祉協議会 地域福祉課) 52-2275



三菱ケミカルエンジニアリング(株) 大竹事業所様より、アルファ米500食の寄付を頂きました。

- ◆**一般寄付**
- 金一封 匿名 8件 15万3千円
- 〃 母 コマツ 田中護 阿多田
 - 〃 養母 マッコ 中島恵子 新町三
 - 〃 母 イツ子 西慶人 本町一
 - 〃 父 武博 植木茂雄 南栄二
 - 〃 夫 和人 今井美枝子 油見三
 - 〃 匿名 須美江 小田文彦 本町一
- ◆**香典返しにかえて**

令和4年6月1日から
令和4年7月31日まで

皆様からいただいたご寄付は、福祉のまちづくりのために、有効に活用させていただきます。

ここに、「ご芳名を掲載させていただきます」とも、謹んで厚くお礼申し上げます。(敬称略)

※金額表示につきましては、「ご寄付者のご意向によるものです。」

**あたたかいご寄付
ありがとうございます**

お知らせ
大竹ふれあい健康・福祉まつり中止

「令和4年度大竹ふれあい健康・福祉まつり」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむなく中止とさせていただきます。

楽しみにいただいている皆さん、ご協力いただいている関係者・関係団体の皆さんには、大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

今号の「やさおをさがせ」の答え
3人でした。

大竹市社協登録ヘルパー募集

私たちと一緒に、働きませんか?

しっかり働いて収入を得たい人。
家事、育児と両立したい人。
副業として隙間時間で働きたい人。

まずは大竹市社協訪問介護事業所までご連絡ください。

【問い合わせ】(0827)52-2227

相談窓口

事業名	とき	時間
司法書士による相談(要予約)	毎月第3木曜日(祝日休み)	13時00分~16時00分
よりそいサポートセンター	月~金(祝日休み)	9時00分~17時00分
障がい者相談支援センター	月~金(祝日休み)	8時30分~17時15分
地域包括支援センター	月~金(祝日休み)	8時30分~17時15分

学習会

事業名	とき	時間
手話「さつき」	毎月第2・4火曜日	19時00分~20時30分
手話「ママとかめの会」	毎月第1・3木曜日	10時00分~12時00分
手話「ぼぼんた」	毎月第2・4月曜日	10時00分~12時00分
点字「あけぼの」	①月初め(広報等の点訳) ②第3土曜日(勉強会)	9時30分~9時30分 11時30分
「あけぼの」音訳	毎月第2・4金曜日	10時00分~12時00分
要約筆記「ふたば」	毎月第1・3土曜日	13時00分~15時00分

編集後記

WHO(世界保健機関)は、日本の新型コロナウイルス感染者が、7月17日から7月24日までの1週間で約97万人になり、世界最多だと伝えられました。(7月27日付)

今は、行動制限もないこともあり、各地でいろいろなイベントが開かれ、多くの人々が参加しています。このままで大丈夫なのかと考えてしまいます。

「Peace begins with a smile (平和は、ほほえみから始まります)」 マザー・テレサ

定例的な事業

事業名	とき	時間	内容
子育てサロン「すこやか」	毎週水曜日	10時00分~12時00分	親子同士がふれあう憩いの場です。
認知症の人との集い「やすらぎの家」	毎週水曜日	10時00分~15時00分	認知症の人が集う憩いの場です。
ソーシャルクラブ「青空」	毎月一回	10時00分~14時00分	心の病気をお持ちの方が一緒に過ごす憩いの場です。
サークル「憩い」	毎月第4木曜日	10時00分~14時00分	精神障がいをお持ちの方が楽しく集える場所です。
ひきこもり支援	毎月第4火曜日	10時00分~11時30分	ひきこもりの方が過ごす場、家族同士のふれあいの場です。
つどいの広場	毎月一回	16時00分~20時00分	小中高生が対象のつどいです。夕食の提供があります。

申込み・問い合わせはいつでも **大竹市社会福祉協議会** TEL 52-2211 FAX 53-8122

編集発行: 大竹市社会福祉協議会(大竹市西栄二丁目4番1号 大竹市総合福祉センター[サントピア大竹]内) メールアドレス <info@otake-shakyo.or.jp> ホームページ <http://www.otake-shakyo.or.jp/>